

こうやま
京都産業大学神山天文台が目指すもの

中道 晶香¹⁾・京都産業大学神山天文台関係者¹⁾²⁾

¹⁾京都産業大学 神山天文台 ²⁾京都産業大学 理学部

Aim of Koyama Astronomical Observatory, Kyoto Sangyo University

Akika NAKAMICHI¹⁾, et al.

Abstract

Koyama Astronomical Observatory has newly constructed in the campus of Kyoto Sangyo University, located in the north of Kyoto city. We have 1.3m reflector telescope equipped with 2-visible-color imaging camera and low-dispersion spectroscopy. Our scientific target is to study variety of transient objects, including searching extrasolar planets by micro-lensing. Our goal is to construct an educational-industrial complex for students, teachers, researchers, and people in the industry. We develop, in this complex, the most suitable observational equipment as well as highly advanced education in skills and science.

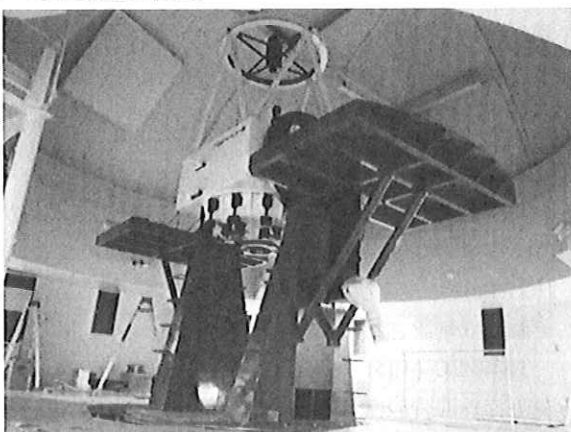
Key Words: Astronomical Observatory, Imaging, Spectroscopy, Educational-Industrial Complex

1 京都産業大学神山天文台の目標

京都産業大学の創始者の荒木俊馬氏は天文学者であり、開学当初から天文学の教育・研究に力をそそいできました。そして2009年12月22日、口径1.3mの反射望遠鏡を備えた天文台が完成します。

当天文台には、オプトショップ、エレキショップ、クリーンルーム、測定室などがあり、天体観測装置の開発を通じた人材育成と産学連携を目標の一つと捉えていることが特徴です。将来は、天文学コミュニティの観測装置の開発をサポートし、装置開発を受注できる体制を目指しています。

2 1.3m反射望遠鏡



1.3m反射望遠鏡は西村製作所製です。光学系はリッチー・クレチアン、焦点はカセグレン×1、ナスミス×

2の合計3ヶ所、架台は経緯台式です。

この望遠鏡は、大学・大学院や附属中・高校の教育だけでなく、毎週土曜日には一般市民へ公開します。

3 観測装置

(1) 可視光二色同時撮像カメラ

平成21年度中に、可視光二色同時撮像カメラが完成予定です。光学系は、ダイクロイックミラーによる2光路分割方式です。 Ch1) 380 - 700 nm

Ch2) 500 - 900 nm

グリズム (対物分光 R~50) 視野 12' × 12'

CCDカメラ Spectral Instruments社製 2K×2K

(2) 可視光低分散分光器

平成22年度には、可視光低分散分光器が完成します。

波長範囲 380 - 760 nm

波長分解能 R=500 (スリット幅~2")

スリット長 2' 分散素子 グリズム

4 目指すサイエンス

(1) マイクロレンズ現象による系外惑星の探査 (米原、磯貝)

(2) 突発天体、時間変動天体の観測 共生星 (池田、磯貝)、太陽系小天体 (河北+院生)、新星 (新井)、超新星、他

☆京産大神山天文台をよろしく願いいたします。